

ホップ・ステップ・ジャンプ！



全国学力・学習状況調査が実施されました

今年度は4月18日に第6学年児童を対象に、全国学力・学習状況調査が行われました。国語・算数は各45分間、質問紙調査20分程度のテストを実施しました。結果からうかがえる、本校の傾向は以下の通りです。

テストからうかがえる傾向

【国語科】

- 基本的な漢字の送り仮名の問題の正答率が高い。
- 全国と愛媛県の正答率と比べて資料から必要な情報を見つけることができる児童が多い。
- ▲ 要約して必要な条件を満たして文にすることができる児童が少ない。(書く力)
- ▲ 同音異義語の正答率がやや低い。

【算数科】

- 計算の基礎・基本が定着している。
- 表や図形の問題では、基本的な図形の名前や必要な情報を見つけることができる。
- ▲ 面積を求める公式や筆算の仕方などは覚えているが、意味の理解が十分でない。そのため、機械的に問題を解いてしまい、応用問題でつまづく傾向にある。
- ▲ 割合の理解に課題がある。



質問紙調査からうかがえる傾向 (○：全国平均と比べて肯定的な回答が多かったもの)

(▲：全国平均と比べて肯定的な回答が少なかったもの)

- 学校で、自分の考えをまとめ、発言する場面で、PC、タブレットなどのICT機器をよく使っている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 算数の勉強は大切だと思う。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ▲ 新聞を読んでいる。
- ▲ 算数の勉強が好きである。
- ▲ 今住んでいる地域の行事に参加している。
- ▲ 読書は好きである。
- ▲ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。



～本校の学力向上の取組について～

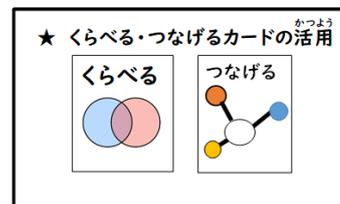
金子小学校では、日頃の児童の様子や、昨年度までの学力テストの結果を参考にして、主に以下のことについて重点を置いた授業づくりに取り組んでいます。

- 自分の思いや考えを伝え合ったり、互いの良さを生かし、広げ深めたりすることを通して、達成感や喜びを感じられる授業
 - 児童の「やってみたい」「解決したい」という学習課題を設定し、学ぶ必然性を高めた授業づくり
 - 自分の考えを整理し、言語化するために思考ツールを活用した授業
 - 文章題において、分かっていることや聞かれていることに線を引いて問題の意図をつかませる授業づくり
 - 算数科において、問題文に思考過程を図や絵で表し、説明し合う場を取り入れた授業
- 〔 2年生以上の学年は、算数科の文章問題を解くときに、図や絵をかくように指導しています。宿題プリントなどで、文章問題が出たときには、図や絵をかいて考えるように言葉掛けをお願いします。 〕

～さらに、今年度の学力テストの結果を受けて～

- 要約が苦手な傾向にあるので、条件を加えて書く機会を増やしたり、書いたものに対して比較・検討の機会を設けたりして経験を積ませるようにしていきます。
- 算数科や国語科の学習について、大切に将来役に立つと思っている児童が多かったです。「大切だと言われるから、やる」から、「楽しいからやりたい！」になるように、楽しい授業づくりに努めていき

また、金子小学校では、児童考案の聞く合言葉「あめだま」、話す合言葉「かれいうどん」、教師考案のふりかえりの合言葉「きなこもち」や「くらべる・つなげるカード」を活用して授業を行っています。



1～5年生もやっています、学力テスト!

(県が実施するテスト)

愛媛県学力診断調査 実施：12月 学年：5年生

教科：国・算・社・理・外国語（12月）

チャレンジテスト 実施：10月 学年3・4・6年生 教科横断的な問題

えひめICT学習支援システム（EILS：エイリス）を活用します。（20分）



(金子小学校で実施しているテスト)

標準学力調査 実施：1月 学年：1～6年生 教科：国・算

学習指導要領の改訂ポイントを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を適切に測ります。（各教科40分）